

「語りたい 歌いたい つなぎたい」

「長野県合唱連盟愛唱歌集」から思うこと



大勢の精鋭たち！剣道部男女の活躍に期待！



松本市民スポーツ大会 バド部 小林君1位

長野県陸上競技春季大会 走り幅跳び 近藤君2位



木々の緑が美しい校内。各研究室の入り口には小林先生作の「ウェルカム写真」が飾られお迎えをしています

今年の校長室の「私」は森高千里に(´艸`)・・・

どうぞお寄りください

ゴールデンウィーク真っ只中、暦どおりに本日も生徒たちは元気に学校生活を送っています●**剣道部**は松本市市民スポーツ春季大会において昨年に続き素晴らしい結果を校長室に報告にきてくれました。**男子高校生の部Aチーム優勝**ほか、1年生が8人も入部し勢いを増している彼らの今後の活躍に期待したいですね。**バドミントン部小林君もこの大会でジュニア男子Aシングルス第1位！**非常に楽しみです●**標記は私も関わる「長野県合唱連盟」が制作し県内高校生も使用している歌集名。**語り継ぎ歌い続けたい曲の数々を集録。6月に行われる県合唱祭では(本校合唱部も出演)北信地区合同合唱団としてこの中の「**聞こえる**」を合唱します(鳥谷越指揮)。この曲は平成3年NHK合唱コンクール高校の部の課題曲だった曲で、当時私も有志を集めた富士見高校即席合唱団を率い出場しました。あれから34年、今でも歌われ続けるこの曲の訴えるものは、「**何もできない自分の現状に、何ができるかを自問自答する姿**」です。詩には天安門事件で戦車に立ちはだかる青年の姿、ベルリンの壁崩壊による民族統一、アマゾン流域の森林伐採がもたらした地球の酸欠、海に流れた油により羽を奪われた鳥などの環境破壊問題……が描かれています。34年を経た今、何が変わっているでしょう…同じ光景が今なお続く世界情勢に、何もできない自分を悔やみながらも、この間を「歌」に乗せて強く発信し、語り継ぐ使命を感じます。歌い継ぎたい名曲を6月8日松本音文ホールで披露します

